

直近1ヶ月間の通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況について (2月16日時点)

1. 卸売業者から医療機関・薬局等への供給量(1月20日～2月16日)

○ 合計 約▲6.4万人分

○ タミフル 約▲3.4万人分

(カプセル 約▲2.3万人分)

(ドライシロップ 約▲1.1万人分)

○ リレンザ 約0.1万人分

○ ラピアクタ 約0.0万人分

○ イナビル 約▲10.8万人分

(吸入粉末剤 約▲10.9万人分)

(吸入懸濁用 約0.1万人分)

○ ゾフルーザ 約2.0万人分

○ オセルタミビル「サワイ」 約▲0.7万人分

(カプセル 約▲2.2万人分)

(ドライシロップ 約1.5万人分)

○ オセルタミビル錠「トーワ」 約6.4万人分

▲(マイナス)は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの。

2. メーカー・卸売業者の保有量(2月16日時点)

○ 合計 約1,201万人分

○ タミフル 約248万人分

(カプセル 約103万人分)

(ドライシロップ 約145万人分)

○ リレンザ 約137万人分

○ ラピアクタ 約16万人分

○ イナビル 約481万人分

(吸入粉末剤 約477万人分)

(吸入懸濁用 約4万人分)

○ ゾフルーザ 約176万人分

○ オセルタミビル「サワイ」 約110万人分

(カプセル 約86万人分)

(ドライシロップ 約24万人分)

○ オセルタミビル錠「トーワ」 約33万人分

問い合わせ先
医政局医薬産業振興・医療情報企画課

抗インフルエンザウイルス薬の供給量及びインフルエンザの発生状況

(直近 1 ヶ月間)

期間	卸売業者から医療機関・ 薬局等への供給量	インフルエンザ定点 当たり報告数	国立感染症研究所による インフルエンザ感染者数の 推計値
1/20～1/26	24万人分	11.06	約38.6万人
1/27～2/2	▲4万人分	5.87	約19.4万人
2/3～2/9	▲9万人分	3.78	約12.5万人
2/10～2/16	▲17万人分	2.63	約9万人

※ 1月20日から2月16日の卸売業者から医療機関・薬局等への供給量は、約▲6万人分

※ 2月16日時点のメーカー・卸売業者の抗インフルエンザウイルス薬の保有量は、約1,201万人分

※ ▲（マイナス）は、卸から医療機関・薬局等への供給量に比べ、医療機関・薬局等から卸への返品量が多かったことによるもの。

今シーズンは例年以上に急激に感染が拡大し、一時的に定点医療機関からの報告数で過去最高を記録したほか、長期間の年末年始休暇が重なったこともあり、医療機関・薬局等において、こうした感染状況が一定期間にわたって継続することにも備え、一定の在庫を確保していたことが影響していると考えられる。

なお、返品された製品については、必要としている他の医療機関・薬局等へ供給することで、医療資源の無駄が生じないように努めている。